

## モリウミアス

雄勝の森の中にあるモリウミアス（Moriumius Lusail）は、子どもたちがサステイナビリティと自然とともに生きることについて学べる教育的な施設です。この施設の名前の前半部分は、「forest」を意味するモリ、「sea」を意味するウミ、そして「tomorrow」を意味するアスという語の組み合わせです。この施設はフレンド基金の支援を受けて建てられたため、施設の名名の後半 Lusail はカタールにある同名の町から取られています。

2015 年にオープンしたモリウミアスは、2002 年に廃校になった桑浜小学校の旧校舎に新たな命を吹き込みました。この木造の建物は、ほぼ 100 年前に建てられたもので、屋根は高級硯を作るのにも使われる地元で採れる石、雄勝スレートで葺かれています。広々として開放的な内装は、日本の著名な建築家である隈研吾と手塚貴晴がスタンフォード大学の建築学生たちと共同で再設計しました。

モリウミアスには、男女別の寝室に加え、露天風呂、ガーデンキッチン、ダイニングルーム、そして二面の小さな田んぼに隣接する池があります。

モリウス行きのシャトルバスは、毎週土曜日に仙台駅と仙台国際空港の両方から運行しています。訪れる際はスペースを自由に探検してみましょう。ボランティアはいつでも歓迎されています。